YONEMORI TIMES
Vol.84 2024.8.9 発行



株式会社石川検査

高野光平（たかのこうへい）

2013年、株式会社石川検査に中途入社した高野光平。異業種からの転職だったものの、入社以来、資格取得などの勉強に励み活躍を続けてきた。担当している業務は、建築鉄骨の超音波受入検査や鉄筋ガス圧接の受入検査、ドローン業務にフィットテストなど多岐にわたる。新規事業で大きな成果を残したという高野に話を聞き、その働きぶりに迫った。

新たなキャリアのスタート

大学卒業後は株式会社ブリヂストンに入社し、主に企画営業職として約10年間働いた。しかし、数字に追われる生活に疲労を感じて退職を決断。その後は工場での仕事に興味を持ち、職業訓練校に通うことに。石川県小松市出身の高野にとって、工場といってイメージするものは、地元にあった株式会社小松製作所だ。小松製作所では、ブルドーザーなどの建設機械の製造や溶接作業が行われていた。そこで、職業訓練校では溶接を学ぶことにしたという。

「職業訓練校には約半年間通い、溶接の資格も取得しましたが、担当指導員からは検査の仕事を勧められました。そこで知ったのが石川検査です。業務内容に興味を持ったため、工場での仕事から検査員へと進路を変更したのです」。

フィットテスト事業への挑戦

これまでに一番印象に残っているのが、フィットテストの業務だ。特定化学物質障害予防規則の改正により、各製造現場で溶接作業をする際に使用するマスクについて、1年以内ごとに1回フィットテストをするよう義務づけられた。法令は2021年4月に改正され、それにともない石川検査ではフィットテスト事業をスタート。そこで高野は、メイン担当者として選ばれたのだ。

新規事業を成功させるために、まずはフィットテスト実施者にとって必要となる、国家資格の第一種衛生管理者免許を取得。労働安全衛生に関連する法令の知識を吸収するため、専門書や参考書を読んだり、わからない点は労働基準監督署に行って問い合わせたりして学びを深めていった。特に、労働基準監督署には30回以上も通ったという。

会社として初めての取り組みだったため、どのくらい受託できるのか不安だった。しかし、営業担当者とも協力しながら案件の獲得に尽力。これまでに、約50社で400名ほどに対しフィットテストを実施した。

「無事に実績を出せたときには安心しました。溶接作業は、鉄骨関係以外にもさまざまな業種で行っています。そのため、より多く受託できる可能性があるでしょう。今後も営業担当者と協力しながら、さらなる事業の拡大に取り組んでまいります」。



「赤心を推して人の腹中に置く」

高野が仕事をする上で心がけているのは、現場でコミュニケーションをよく取ることだ。スムーズに検査を行うためには、相手とこまめに会話を交わし、良好な人間関係を築く必要があると考えているからだ。

「コミュニケーションを取る際に大切にしているのが、『赤心を推して人の腹中に置く』という言葉。相手を信頼して自分をさらけ出すことで、信頼関係を作り上げていくのです」。

実際に、コミュニケーションがうまくいった案件があった。それは、数年前に担当した長野県茅野市の株式会社大林組の現場だ。長期の出張となった高野は、常駐して検査を担当した。日常的に交流しながら業務を進めていくうちに、大林組の現場監督と仲よくなり、一緒にキャンプに行くまでになったという。また、誕生日にサプライズでバースデーケーキを贈られるという嬉しい出来事も。仕事もうまく進み、コミュニケーションの大切さを改めて実感した案件となった。

未来へ向けてステップアップ

今後の目標は、さらに業務の幅を広げることだ。現在もさまざまな業務を担当しているものの、もっと自分のできる仕事の分母を増やしていきたいと考えている。そのために現在取り組んでいるのが、資格の勉強だ。2024年の秋に受験予定の、超音波探傷試験レベル3の合格に向けて、毎日2時間を目安に勉強している最中だ。

「仕事を行いながら勉強するのは大変ですが、自身のスキルアップのために頑張りたい」と語った高野。次なる目標達成に向かって進むその歩みは、とどまるところを知らない。



企業情報

- ◆創 業 年：1918年5月（大正7年）
- ◆設 立 年：1968年5月（昭和43年）
- ◆年　　商：7041百万円（令和6年3月）
- ◆従業員数：114名（令和6年3月）



株式会社石川検査
林（はやし） 誠司（せいじ）さん

高野さんを一言で表すと?

陽気

いるだけで雰囲気が明るくなる感じがします。お茶目なところもあり、社内一のムードメーカーです(笑)

思い出のエピソード

雪がない年越しキャンプをしたときのこと。2人に分かれてテントに入った途端暴風に煽られて飛ばされそうに！大慌てで場所変えしたときは怖かったけれど、楽しかった思い出です。今ではもう笑い話ですが、当時は本当に焦りました(笑)

尊敬できるところ

ミスをしたあとの切り替えの早さが、自分にはない良いところだと思います。

Message

入社日が近いのもあって世間話だったり、資格勉強のことだったり、何でも話せる良き同僚です。とにかく多趣味な人なので、いろいろ知っていて勉強になります。
何かと迷惑をかけることがあるかもしれませんが、これからもよろしくお願いします。

高野さんへのメッセージ

高野光平さんの魅力について2人の社員に深掘り！
楽しいエピソードから明るい性格やお茶目な一面など、飾らない人柄が見えてきました。

Message

いつも石川検査を明るく盛り上げてくれていることに感謝しています！



株式会社石川検査
池田（いけだ） 茂広（しげひろ）さん

高野さんを一言で表すと?

多彩

尊敬できるところ

コミュニケーション能力が高く、誰とでも仲良しなところ。

思い出のエピソード

同じ現場に行ったとき、全く知らない人の車に間違えていたずらをしてしまい、平謝りをしていたこと。いたずらをするようなお茶目なおじさんです(笑)

氷室の日~饅頭配布~

毎年恒例7月1日は、石川県金沢市で伝統的な、氷室の日。今年も、全社員に氷室饅頭を配布しました！このお饅頭には長い歴史があったのです……！みなさんご存知でしたか？7月1日の主役はなんといっても氷室饅頭ですが、杏（あんず）や枇杷（びわ）を食べる風習も古くは一般的でした。この他、胡瓜（きゅうり）や太胡瓜（ふときゅうり）のなます、そしてちくわを食卓に乗せる家庭も多いようですよ。

氷室饅頭とは……?

加賀藩政期、前田家では旧暦6月1日に山中の氷室を開き、冬の間貯えておいた雪氷を遠く江戸将軍家に献上していました。長い道中、無事に氷が届けられるよう、庶民の間では麦饅頭を神仏に奉納し、無病息災を祈って麦まんじゅうを食べる習慣として本日まで伝えられてきました。現代では氷室が開かれた7月1日に、夏の暑さを乗り切り健康を願って食される氷室饅頭。娘の嫁ぎ先に持参され、親類縁者・近隣にも配られるという慣習を残し、初夏の風物詩として、加賀金沢の街に伝え続けられています。

色に込められた意味



ピンク 魔除け
白 清浄
緑 健康と長寿





出典：https://gogen-yurai.jp/chikuwa/

安全大会実施報告





2024年もヨネモリグループで
安全大会を実施いたしました。
一緒に振り返ってみましょう。



開催日：2024年6月21日（金）
会場：石川ハイテク交流センター

スケジュール



1. 開会
2. ヨネモリグループ 代表 挨拶
3. ヨネモリグループ 安全協力会会長 挨拶
4. 2024年度ヨネモリグループ 安全重点目標
5. 安全標語優秀作発表及び表彰
6. 安全の誓い
7. 安全講話
8. 閉会



安全標語 優秀作

今一度優秀作に選ばれた安全標語に目を通し、安全に対する意識を高めてまいりましょう。

- 安全は小さな努力の積み重ね 成果は大きく無災害 （鉄構3課 石野 敏さん）
- 小さなヒヤリも大きな気づき みんなで声出し ゼロ災害 （東京事務所 北村 敏一さん）
- やったつもり 言ったつもり つもり積もって 事故災害（総務部 木戸口 明菜さん）
- 共有しよう危険箇所 みんなでつくろう 安全職場 （現寸設計部 永田 美里さん）
- 思い込みより思いやり みんなで目指そう 無災害 （有限会社広伸興業 江頭 民夫さん）
- 安全は人に頼むな任せるな 手順を守って ゼロ災害（北陸イワタニガス株式会社 西崎 幸広さん）
- すぐそこに 慣れた作業の落とし穴 一旦手を止め 確認ヨシ （城西物流倉庫株式会社 野口 稔さん）

2024年の記念品はこちら



災害対策トイレセット

能登半島地震から半年以上経過しましたが、北陸各地いたるところでライフラインが損傷、いまだに不便な生活を送っている方がいらっしゃいます。「水が出ない」「電気がこない……」と災害のたびに聞きますが、排出することへの備えも必要と感じご用意しました。災害時に限らず、車の渋滞や立ち往生、小さなお子様の備えなどにもご活用いただけます。ぜひ、車の中や手に取りやすい場所に置いて、お役立てください。